

## 「スポーツと開発戦略事業に係る業務委託」

(公告日：2017年8月4日／公告番号：国契-17-055) について、入札説明書に関する質問と回答は以下のとおりです。

独立行政法人国際協力機構  
調達部次長（契約担当）

通番	該当頁	項目	質問	回答
1	全体	全体	本業務の内容には、戦略ペーパー策定と、委員会・招へい/派遣事業のロジ、の二つの柱があり、前者が本業務の中心であると理解するが、後者については、専門業者（例えば旅行代理店やイベント運営会社等）に再委託して実施することを検討してもよいでしょうか。その場合、業務指示書に予め記載のある業務従事者の人月や、「キーパーソン招へい事業費」と「キーパーソン派遣事業費」との関係では、どのように整理して考えればよろしいでしょうか。	本業務の一部を再委託にて実施することを希望する場合は、技術提案書に再委託予定業務内容、再委託先企業名と併せて再委託予定業務の想定人月を記載ください。なお、再委託予定業務の想定人月と、受注者が自ら行う業務の想定人月の合計が、入札説明書P. 26に記載されている業務量の目途となるようにしてください。
2	32	別添1 評価項目一覧表 3. 業務従事者の経験・能力等	(1) 総括／開発戦略の①類似業務の経験について、「スポーツと開発やその他関連事業に係る業務実績」と記載されていますが、貴機構発注の他案件にも例があるように、複数名で対応する場合には、一人がスポーツ関連業務実績、もう一人が開発関連業務実績があれば、配点のうち満点をとることができるとの理解でよいでしょうか。	総括／開発戦略の業務を複数名で従事する提案があった場合、評価項目一覧表の3. 業務従事者の経験・能力等に関しては、当該業務を担当する複数名の経歴・経験を総合的に評価します。したがって、一人がスポーツ関連業務実績、もう一人が開発関連業務実績があれば、必ず満点をつけるわけではありません。
3	32	別添1 評価項目一覧表 3. 業務従事者の経験・能力等	(2) スポーツ協力／業務監理の役割については、(1) 総括／開発戦略の補佐的な役割（戦略ペーパー策定・全体とりまとめ補佐）と理解してもよろしいでしょうか。いずれにしても、この(2)の業務従事者に役割に求められている経験・能力が、現状では④以外は総括と同一となっていますが、誤植でしょうか。	総括を補佐する役割もある（およびロジ業務を主として担当する）という点ではご理解のとおりですが、総括団員とともに本業務で委託する事項全般についての業務を遂行するという点では総括/開発戦略の方と大きな差異はありません。その観点から各業務従事者の経験・能力について大きな差異を設けていません。
4	P22、25	5. 業務の内容 (1) エ)、6. 成果品など	戦略ペーパー「案」の提出時期は記載されていますが、2017年度版をセットする時期はいつ頃を想定されていますでしょうか。	2018年初頭には完成させたいと思っておりますが、同ペーパーは案を最終化するまでにJICA内関係各部および経営層との調整・承認を伴うため、セットまでに時間が前後する場合がありますと想定します。
5	P. 23	5. 業務の内容 (2) ア)	戦略委員会の議題の設定自体は貴機構で行うとの理解でよろしいでしょうか。	そのような理解で結構です。
6	P. 23、24	5. 業務の内容 (3) 招へい/派遣事業の検討・実施 ア)	P23の(3) ア) ①の「招へい者」、②の「招へい者」、「被招へい者」は、いずれも、海外から招へいされるキーパーソンのことを指すとの理解でよいでしょうか。	そのような理解で結構です。
7	P. 24、25	5. 業務の内容 (3) 招へい/派遣事業の検討・実施 イ) 【具体的な業務】	こちらはアテンドは想定されていない（現地調整員に委任する）との理解でよろしいでしょうか。	現地調整員に委任するよりもアテンドを選出・派遣の方が効果的・効率的と考える場合は、受注者による提案を妨げません。ただし、キーパーソン派遣国の状況を鑑みて、現地調査員を備うすべきか、アテンド要員を派遣すべきか判断することを想定しているため、キーパーソン派遣国が決定し次第、受注者と発注者で協議します。

通番	該当頁	項目	質問	回答
8	25	5. 業務の内容 (3) 招へい/派遣事業の検討・実施イ) 【具体的な業務】	こちらに記載されている業務実施のために想定されている経費が31,122,000円という理解で正しいでしょうか。	そのような理解で結構です。
9	P. 27	4. 入札金額の積算方法	通番1・9にも関係しますが、直接経費として、「キーパーソン招へい事業費」と「キーパーソン派遣事業費」に定額を入札金額に含めるとのことですが、当該金額に含まれる経費の詳細費目をお教えいただけますか。また、この業務を再委託する専門業者等への再委託費用もこの中で含めて検討してもよろしいでしょうか。	1) 招へい事業費：・諸謝金、同行者旅費、資料印刷費 2) 派遣事業費：・キーパーソン人件費、・キーパーソン旅費（航空賃、日当・宿泊費）・現地調整員労務費、・現地通訳費、・現地車両備上費、・現地会場等借り上げ費、・現地通信費、・現地消耗品費 を想定しています。なお、専門業者等への再委託費用は定額計上した費用の中に含めて考えることは認めません。定額計上することを指示している経費は、あくまで受注者自身が当該業務を行う上で支出する直接経費であり、再委託業者の人件費等は含まれません。
10	P. 30	2. 技術提案書作成に係る要件・留意事項	「様式 1（その2）」に記載する案件の数をご教示ください。	最大10件までを目途に記載してください。
11	P. 22	4. 実施方針及び留意事項 (3) 招へい/派遣事業の検討について	提案に当たり貴機構におけるボランティア派遣を通じたこれまでの取り組みの全体像を理解するために、現在の国別及び職種（競技種目）別のJICAボランティア派遣人数及び派遣年度と、今後の派遣予定情報（国別及び職種別）をどこで参照することが可能かご教示ください。（国別派遣実績及び職種別派遣実績は公開されていると認識しております。）	別途、参考資料を配布しますので、その内容をご覧ください。なお、参考資料の入手方法については、弊機構のHPに掲載される本公告の【訂正公告】の内容をご確認ください。
12	P. 22	5. 業務の内容 (1) スポーツと開発戦略ペーパー案の策定支援ア)	提案に当たり貴機構における「スポーツと開発推進連絡会」のこれまでの取り組みの全体像を理解するために、「スポーツと開発推進連絡会」の議事録等、連絡会の概要やこれまでの活動内容に関する資料をどこで参照することが可能かご教示ください。	同連絡会での議論結果を反映する形で、参考資料として配布している「スポーツと開発」ポジションペーパーをまとめています。こちらの内容を吟味いただけますよう、よろしく申し上げます。
13	P. 22	5. 業務の内容 (1) スポーツと開発戦略ペーパー案の策定支援ア)	「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けたロードマップ等」のロードマップとは、オリンピック・パラリンピック開催に向けた主要イベントとその開催スケジュールであるという理解でよろしいでしょうか。	ここで記載しているロードマップは、JICA内で検討している事業実施プラン案を指します。
14	P. 24	5. 業務の内容 (3) 招へい/派遣事業の検討・実施イ) 【目的】	アダプテッドスポーツとは、「障がい者や高齢者を含めてすべての人が参加できるスポーツ」であるという理解でよろしいでしょうか。もし、貴構が採用する定義がありましたら、ご教示ください。	そのような理解で結構です。

通番	該当頁	項目	質問	回答
15	P. 25	5. 業務の内容 (4) 外部照会・JICA内外発信機会に対する関連資料作成	広報イベントや国際会議における取組の発信について、具体的に想定されているイベントや会議等がありましたらご教示ください。	2020年までに日本で開催が予定されている各種国際競技大会の他、毎年開催される世銀/IMF総会、国連総会でのサイドイベントなどの場を想定していません。
16	P. 21-22	4. 実施方針及び留意事項 (3) 招へい/派遣事業の検討について	2018年度以降は、招へい2名/年、派遣2名/年とありますが、2020年度については、オリンピック・パラリンピック参加促進を目的とした招へいは時期的に遅いと考えられます。2020年度についても、人数は2名で、ただし、その場合は、アダプテッド・スポーツ含む関連種目の普及促進を目的とした招へいを実施するとの理解でよいでしょうか。それとも派遣のみになることも考えられますでしょうか。	2020年度についても招へい2名、派遣2名を想定しています。その実施時期については、オリンピック・パラリンピック開催前までに行うことを想定しており、「オリンピック・パラリンピック参加促進」及び「アダプテッド・スポーツ含む関連種目の普及促進」を目的として実施する予定です。

以 上